

# 1年 学年だより

大阪府立矢田中学校  
第9号  
2026年5月20日  
発行

## いじめを 考える日。

5月11日は、いじめを考える日でした。  
「いじめ」というと、強い立場の人(または集団)が弱い立場の人に暴力行為をするというイメージを持っていませんか。だからでしょうか。自分はいじめとは無関係という人が多いようです。  
いじめ防止対策推進法では、いじめを次のように説明しています。

児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものも含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。  
(いじめ防止対策推進法)

なんか難しい。つまり、誰かに嫌なことをされた(した)ら、それは「いじめ」と捉えていいのでしょうか。

かつてのイメージとは違い、いじめの加害者と被害者の間に強弱の関係があるかは問題ではなく、集団であるか個人であるかも問題ではないのです。

下の表を見てください。2018年11月に中学生に実施した調査で、いじめである行為と、それぞれの被害を受けたと答えた生徒の割合の合計(男女別)です。

	男子	女子
1: 仲間はずれにされたり、無視されたり、陰で悪口を言われたりした	31.9%	39.7%
2: からかわれたり、悪口やおどし文句、イヤなことを言われたりした	33.3%	32.5%
3: 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりした	30.7%	15.4%
4: ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりした	19.7%	6.0%
5: お金や物を盗られたり、壊されたりした	12.1%	11.7%
6: パソコンや携帯電話で、イヤなことをされた	9.8%	8.2%

(国立教育政策研究所「いじめ追跡調査2016-2018」より)

## 誰にでも 起こりうるから。

表の、1~3および6の項目は、行った側もいじめ加害行為と思わずにしているかもしれません。相手に「心身の苦痛を感じ」させる行いは「いじめ」、知っておいてください。

また、被害を受けたと答えた割合を見ると、多い項目で3人に1人は被害経験があるようです。これを1年生に当てはめると、クラスに8人ぐらいいじめの経験があるということに……。いじめは誰にでも起こりうる問題なのです。自分と無関係とは思わないでください。

本校では、毎年、生徒会を中心に全校生徒でいじめについて考える取り組みを行っています。

## これまでの活動。

過去には、いじめを起ささないための取り組みとして、「いじめを許さない 矢田中三原則」をまとめました。いじめ加害の原因になりかねない普段からの心のありようや人間関係の作り方にも言及しているのが特徴です。この三原則は、本校独自の取り組みとして、全国の中学校の代表が集まる場で紹介したこともあります。

### いじめを許さない 矢田中三原則

- 1 自分の感情で人や物を傷つけない
- 2 人を見下さず対等な関係をつくる
- 3 一人一人の個性を認め合い偏見の目を持たない

「いじること」「いじり」もいじめの一つと捉えて啓発活動を行ったり、クラスメイトの良いところをカードに書いて教室に掲示したりしたこともあります。

## 今年度の 取り組み。

今年度は、「傍観者」に焦点を当てました。誰かが苦しんでいるときに、周りで面白がったり囃したりするのはいじめを助長する行為であるという内容の映像劇を観ました。映像は、生徒会の人たちが作成しました。周りで見ているだけでもやめようというメッセージも込められています。誰もが当事者であるという意識をもてば、防げるいじめ

があるという意志が感じられるものでした。

その後、教室で三原則を守るためにどうすればよいかを考える時間を取りました。不安や焦りを感じることは誰にでもあります。いらいらを外に向けると、暴力やいじめにつながります。自分の心と向き合って、趣味の時間などのクールタイムを設けることが、いじめを防ぐこととなります。

いじられて我慢していませんか? 集団の中で自分が優位に立つために、誰かを傷つけていませんか? 同級生同士で上下関係を作ってしまうのは寂しいことです。健全な人間関係の築き方を考えてください。「個性を認め合い」とは、自分のことも相手のこともよく知ることです。3年間で、互いをよく理解して、心から信頼し合える友人関係を築いてください。

5月13日・14日は  
1年生一泊移住でした。

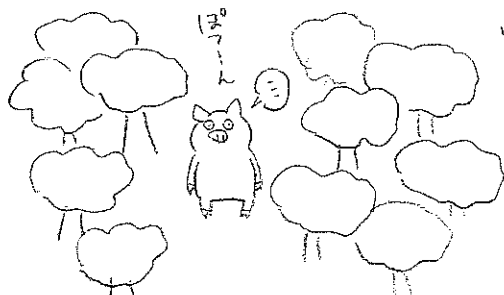
1日目  
ハイキング



生徒より一足先に  
チェックポイントへ  
急ぎます。



チェックポイントに着いた  
ときには汗だく。



山の中で  
みんなが来るのを  
ひたすら待ちます。



ズルッ!

いつの間にか肩に  
虫が着いていました。

一泊移住  
1日目の夜



グー  
グー  
ズー  
ズー



みんなが寝静ま、正から  
ちょっと一休み。



ズルッ!



ズルッ!

足を引っ張りました。